

Weekly コラム

令和 2 年 10 月 6 日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会)

Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

2 月 16 日

昨年、発表された新紙幣のニュースは覚えておられますでしょうか。特に注目されたのは 40 年ぶりに人物が変わる 1 万円札で、そのデザインになる渋沢栄一氏ですが、その孫の渋沢敬三氏は 1946 年に日本でデノミネーションと預金封鎖を起こした時の大蔵大臣です。

その渋沢敬三氏が、昭和 21 年 2 月 16 日、急激なインフレ対策として「5 円以上の紙幣は 3 月 2 日までしか使えません。古い紙幣は新しい紙幣と交換しなさい。交換できるのは世帯主 300 円、世帯員 1 人 100 円までです」
*現在の貨幣価値で世帯主が 12 万円、世帯員が 4 万円といういわゆるデノミを発表しました。そして、さらにその他の紙幣はすべて預金させ、この預金に対して最大 90%の財産税を徴収したのです。

今回、コロナウイルスの影響で日本だけでなく、世界各国が金利を引き下げ、ゼロ金利やマイナス金利にし、さらに資金供給という形で、中央銀行がお金を刷り、世界中でお金がばらまかれている状態です。つまり、通貨の価値が薄まり、インフレが起こる前段階と言えます。その証拠にインフレに最も強いといわれる金価格が 40 年ぶりに最高値を更新しています。

つまり、今回のコロナ騒動で、インフレとデノミという意識が急速に世界中で高まったと考えるのが自然ではないでしょうか。膨張したマネー、そして、それに伴うインフレを食い止めるのに一番簡単なのは、デノミネーションです。そして、それによって一番打撃をこうむる

のは富裕層と言われる方々です。お金を刷っているのが日本であれば、他国の通貨を持つことでリスク回避になりますが、世界中がお金をばらまいている状況では、どこの国でもインフレとデノミの可能性を考えておかなければならないのです。この数年で、もしかしたら世界中で新紙幣というニュースが出てくる可能性も否定はできません。

ちなみに日本では、2016 年の 2 月 16 日に日銀がマイナス金利の導入を決めており、この 2 月 16 日という日は、渋沢敬三氏がデノミと預金封鎖を発表した日でもあります。いわゆるこの日が X デイになる可能性が高い日と考えられるのではないのでしょうか。もし、政府が行動を起こす日があるとするれば、この日を覚えておかれて損はないように思います。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、
skc-soudan@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX ご不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。